

令和6年度 多摩区町会連合会・地域コミュニティ活性化促進委員会合同 「令和6年度多摩区町内会長・自治会長及び役員等研修会」報告

令和7年2月22日(土) 午後2時～多摩区役所11階会議室
参加者 多摩区町内会・自治会長、役員等54名

多摩区町会連合会及び地域コミュニティ活性化促進委員会では、町内会・自治会長や役員の皆様が住民組織のけん引役として活動する上で、必要な知識や見識を養うと同時に、地域相互の情報交換やコミュニティの活性化を図ることを目的として、研修会を開催しています。

今回は、現役で仕事をされながら自治会長を担い、活動の合理化や更なる進化を試みる「海老名市サンパルク650自治会」の仲川会長をお招きし、お話を伺いました。

講演会 講師 海老名市サンパルク650自治会 会長 仲川 陽介 氏

仲川会長は、「アメリカ横断ウルトラクイズ」等多くの番組を担当し、海外や地方でお仕事をされている現役のテレビ番組ディレクターです。忙しい日々の中、現在の自治会活動の課題や、仕事と自治会活動の両立を図るための合理化、工夫などを、経験を交えてお話いただきました。



海老名市サンパルク650自治会 仲川会長



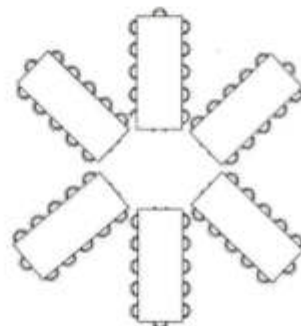
講演会の様子

テーマ① 町内会・自治会加入の必要性について(抜粋)

自治会長に就任した後、番組取材で立ち寄った神戸市長田区で、阪神・淡路大震災で罹災し、倒壊した建物に生き埋めとなり生還された、お好み焼き屋のおばあちゃんから当時の話を聞くことができました。倒壊した建物の下に誰が埋まっているのか、生存しているのか、混沌とした状況の中、「かずさーん! どこにいる?!」とおばあちゃんの名前を呼んで助け出してくれたのは「おとなりさん」でした。この経験を経て、「いざという時に頼りになるのはご近所さん」であると、身に染みて感じたと話をしてくれました。海老名市サンパルク650自治会は、以前は誰が住んでいるのかわからないという状況が多く見受けられました。新米自治会長として、普段からお付き合いの土台を作ることこそが、災害時の被害を少なくすることに繋がることを学び、改めて町内会・自治会の重要性、必要性を強く感じました。

また、その町内会・自治会の運営を長く、安定したものとするのは、負担感の少ない、合理的な取り組みを進め、多くの住民が活動に関わることでできる状況を維持することです。会議の開催日時は仕事を持つ人も参加できるよう調整し、座席のレイアウトは活発な意見が出やすい星形にしました(右図参照)。

一度行ってみると、狙いどおり活発な意見が出始めたので驚いています。たわいもない雑談が増えると、議論も盛んになることを学びました。



サンパルク650自治会の会議の座席レイアウト図

テーマ② 町内会・自治会活動でのSNSの活用について(抜粋)

SNSについては、海老名市サンパルク650自治会でも手探りの状況で、現在は主にLINE(ライン)を使用しています。令和6年度は役員全員が日ごろからLINEを使用していたのでスムーズに導入できましたが、令和7年度は、LINE未経験の方がおられるため、使用を試みて、難しそうであれば一部文書(紙)の利用も視野に入れています。また、テーマ①でも取り上げた安定した活動には合理化も必須なので、会議の際の記録は、議事録作成(文字おこし)ツールを使用しています。こういったツールを使うことによって、時間と労力を皆の交流や防災といった、より大事な活動の方に力を入れていきたいと考えています。

【多摩区町内会・自治会活動紹介】

● 長沢自治会 米山 福吉 会長

宮前区と麻生区に隣接する長沢自治会は、多摩区南部に位置し、25組180班で組織する2,450世帯加入の自治会です。長沢自治会を組織するのは理事会のほか、協力団体として長沢消防班、長沢平瀬川協議会、子供会、長沢まちづくり協議会など多くの人が活動を支援しています。

年間を通じてのイベント・事業は、4月の定期総会を皮切りに、盆踊り大会や敬老祝い、防災訓練などを実施しており、できるだけ多くの方に参加していただき、つながりを持ち、子どもたちが地域を大事にする気持ちを育みたいと思っています。今後も、地域の皆さんの協力を仰ぎ、安心安全な地域を目指して運営を行っていききたいと思います。

● 長尾町会 井田 良一 会長

昭和30年に創立された長尾町会は今年70周年を迎え、長尾1～7丁目までを区域として宮前区に隣接しています。町会加入世帯数は2908世帯で、加入率はおおよそ68.6%。組織は、会長と三名の副会長をはじめ、総務室、広報室、会計室、監査室と4つの部屋を設け、消防部や防犯部、交通部、環境美化部など、8つの部がそれぞれ活動を行い、役員を中心に運営しています。

町内会・自治会の存在意義には大きく分けて二つあり、一つは個人のメリットとして、会員一人ひとりが年間行事に参加する意義と楽しみを感じてもらえること及び行事に参画することで、他人が喜んでいる姿を見て自分が喜びを感じられることです。もう一つは、行政だけでは不足している部分、または多摩区の活性化のために町内会・自治会の誰かがやらなくてはいけない必要な活動があるということです。主なものとして、民生児童委員や保護司、スポーツ推進委員、青少年指導員など、社会活動を推進するにあたり、なくてはならない存在です。いずれも、楽しみながら2つの「わ」、大きな「輪」と「和」を広げていくことが最も重要なことではないかと思います。



長沢自治会 米山会長



長尾町会 井田会長

研修当日は、多くの会長、役員の皆様に御参加いただきました。終了後に、講師に質問をする町内会・自治会の役員の方もおられました。

多摩区町会連合会及び地域コミュニティ活性化促進委員会では、今後も町内会・自治会の運営に必要な研修や有用な情報の共有を行ってまいります。